
ちょっとした話。

トモミチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ちよつとした話。

【著者名】

アモリナ

【あらすじ】

みなさんも思い返すと逃している幸せがあるかもしれません。そんな毎日のちよつとしたお話。

帰り道通り雨に降られてしまつて

午後の授業で居眠りしてしまつて

掃除の時間、ゴミ箱をひっくり返してしまつて

お弁当も忘れてしまつて

教科書を忘れてしまつて

朝ご飯を食べ損ねて

Tシャツを後ろ前に着てしまつて

靴下を履いたら片っぽに穴が開いていて

歯磨き粉がきれいで

慌ててタンスに小指をぶつけて

朝寝坊して

ちゃんと体を拭いたのに熱を出してしまって

学校を休んでしまって

そんな1日に

がっかりしてしまって

家族に当たってしまって

友達を羨んで

体を丸めて眠つて

怖い夢を見て

汗をかいて目を覚まして

あ一ついてない
ため息をついて

そういうば

タベもため息をついたなと思つて
いやタベどころじやないそと想い返して

1日の締めくくりに

ちょっとした失敗を悔やんでため息をついて
目覚めがいいわけないのに

そんなことを思つた

これ以上傷つきたくないって

満身創痍を装つて

僕自身

嫌だ

悲しいのも辛いのも
痛いのも苦しいのも

なんだか納得してしまつ

深いため息をついて眠る

空みたいな濃紺の一色に近づくんだ

虹色みたいなかわるがわるの色を持つ僕の心も

空が暗くなるのにつられて

夜になると

吐き出す息が美しい物と勘違いしていたんだ

こんなに悲しくて辛くて、痛くて苦しい思いをする僕はなんて可哀想なんだって

きっとその不憫な自分が可愛くて仕方なかつたんだろう

その日から

吐く息を飲み込む事を知つた僕の毎日は、確実に僅かに変化した

鏡に写る自分に笑顔が増えたこと

進む両足が軽くなつた氣がするんだ

こんな僕は今日から幸せなのかもしれない。

|-

(後書き)

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7796e/>

ちょっとした話。

2010年10月11日02時03分発行